

2019年度 倶楽部選手権競技

日 程 : 令和元年10月6日(日)・13日(日)・20日(日)
場 所 : 榊原ゴルフ倶楽部
使用ティ : 黒マーク

榊原ゴルフ倶楽部 競技委員会

競 技 の 条 件

1. ゴルフ規則
日本ゴルフ協会ゴルフ規則および本競技の競技規則とローカルルールを適用する。
2. 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
3. 使用クラブの規格
競技者が持ち運ぶドライバーは、R&Aによって発行される最新の適合ドライバーヘッドリスト(モデルとロフトで識別される)上に掲載されているクラブヘッドを持つものでなければならない。
例外:1998年12月31日以前に製造されたクラブヘッドを持つドライバーはこの条件から免除される。
4. 使用球の規格
競技者の使用球は、R&Aルールズリミテッド(USGA版)発行の最新の公認球リストに載っているものでなければならない。
※「最新の公認球リスト」および「最新の適合ドライバーヘッドリスト」はJGAホームページ(www.jga.or.jp)で確認することができる。ただし、公認球は月1回・適合ドライバーヘッドリストは週1回更新されるので注意のこと。
5. 練習(規則5.2)
規則5.2bは次の通り修正される。
(1)ラウンド前やラウンドとラウンドの間に、プレーヤーは競技コースで練習してはならない。
例外:プレーヤーは競技日に練習用に用意されているコース内のすべての練習区域を練習の為に使うことができる。
(2)2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。
 - ・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。
 - ・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。
6. 険悪な気象状況によるプレーの中断
次の信号がプレーの中断と再会に使われる。
 - ・即時中断 — 1回の長いサイレン
 - ・中 断 — 3回の連続する短いサイレン
 - ・プレーの再開 — 2回の連続する短いサイレン注意:危険な状況の為にプレーを即時中断する場合、すべての練習区域は委員会がプレーを再開するまで閉鎖される。閉鎖された練習場で練習するプレーヤーには練習を止めるように勧告し、それでも練習を止めない場合には失格となることがある。

7. 競技方法

通算 6 3 ホールストロークプレー

・第 1 日目（予選第 1 R） 1 8 H.S（東・西）

・第 2 日目（予選第 2 R） 1 8 H.S（西・南）

※通算 3 6 ホールの上位 1 6 位まで決勝ラウンドへ進出。

（タイの場合は最終日のカウントバック方式により決定する）

・第 3 日目（決勝 R） 2 7 H.S（東・西・南）

8. タイの決定

6 3 ホールを終わり最上位者がタイの場合は、即日競技委員の指定するホールにおいて、サドンデスによるプレーオフを行い優勝者を決定する。2 位以下がタイの場合は、最終日のカウントバック方式により決定する。

9. 競技終了時点

本競技は、競技委員会の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

10. 競技の短縮

委員会は、コースの状況により適正なるプレーが不可能と判断した時、競技方法に定めてあるラウンド数を短縮することができる。

追加のローカルルール

1. 西No. 3・西No. 9（IP 地点左の池）・南No. 8（グリーン手前の池）でペナルティーエリア方向へ落下し見つからない場合は事実上確実にない場合もドロップエリアを使用する事ができる。
2. パー 3 のホールに限り、先行組がつかえている場合、且つ後続組がティグラウンドに到着している場合、並びに同伴のプレーヤー全員がグリーンオンしている場合は、球をマークして取り除き、後続組に打たせることができる。
3. 休止中のグリーンはプレー禁止区域としその境界はグリーンエッジとする。

注 意 事 項

1. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、スターティングホールのティーインググラウンド付近またはハウス内の掲示板に告示する。
2. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないよう注意のこと。プレーを不当に遅らせた場合は、ペナルティを課す。
3. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
4. バッグは口径 9 インチ、重量は 1 3 キロを超えないこと。

競技委員長 河村 洋和